

千葉市地下道冠水情報システムの運用を開始します！

千葉市では、台風やゲリラ豪雨などにより、地下道で冠水が発生した際に起こり得る車両の水没事故などのリスク軽減を図るため、道路利用者がスマートフォンなどのWEB上で地下道の冠水状況をリアルタイムで確認することができる「千葉市地下道冠水情報システム」を運用しますので、お知らせします。

1 千葉市地下道冠水情報システムの概要

本市が管理する地下道（千葉駅前地下道を除く）13カ所の冠水情報をWEB上で表示するシステムです。

位置情報に示されたピンの色（水色：通行可、黄色：通行注意、赤：通行止め）で地下道の通行状況をリアルタイムで確認することができます。



千葉市地下道冠水情報システム スマートフォン版の画面イメージ

2 運用開始日

令和7年9月1日（月）9：00から

3 公開方法

千葉市防災ポータルサイト内の関連サイトリンク集・水害情報「千葉市地下道冠水情報システム」からご覧いただけます。

【URL】<https://city-chiba.my.site.com/>



<参考>

1 地下道について

主要幹線道路や鉄道などと立体的に交差する道路で、前後に比して道路の高さが局部的に急低下（掘込部）している箇所を指し、雨が降った際はポンプにより排水（一部、自然流下による排水）しているが、集中豪雨などによりポンプの排水能力を超える場合は道路冠水が生じる場合がある。

このため、地下道の安全対策として、水位センサーを設置しており、冠水 5 cm を検知した場合は「通行注意」、15 cm を超えた場合は「通行止め」を道路情報板で表示して道路利用者に注意喚起している。

○市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kensetsu/doboku/dobokukanri/ooame2.html>



2 市内の交通遮断機について

(1) 手動式交通遮断機

物理的に交通を遮断するもので、迅速に開閉作業が行える手動式の交通遮断機。交通量が多い以下 2 カ所の地下道に設置している。

<設置場所>

蘇我町線地下道（中央区蘇我 2 丁目ほか） 4 基

新港穴川線地下道（美浜区幸町 2 丁目ほか） 4 基

(2) エアー遮断機

冠水を検知し、自動で布製のバルーンが膨らむエアー式の交通遮断機。比較的冠水が起きやすい以下 2 カ所の地下道に設置している。

<設置場所>

春日地下道（中央区春日 2 丁目） 2 基

村田町 J R 内房線地下道（中央区村田町） 2 基



手動型交通遮断機(新港穴川線)



エアー遮断機(村田町 JR 内房線地下道)